



鶴の便り 鶴の便り

祝

三十周年記念

夕鶴の里

館長 山田和男

今年度「夕鶴の里」と「民話会ゆうづる」の三十周年記念事業を実施していきます。

記念事業を通して、これまでのあゆみを振り返るとともに、今後益々の発展を期す契機にしたいと考えています。

事業内容は次のとおりです。

■ 映像ホールのプロジェクトの更新

夕鶴の里資料館報

令和5年11月10日

第 155号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800



- 語り部さん全員集合「民話まつり」の実施
- 祝賀会の実施
- 案内板の更新
(おりはた駅・地区内)
- 記念誌の発行

民話会ゆうづる

会長 白岩けい子

民話会ゆうづる三十周年記念事業「民話まつり」を催すことができました。もの、ひとえに皆様方のご支援・ご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。顧みますと、三十二年の長き間には幾多の試練もありました。夕鶴の里関係者の皆様のご協力を得て、語り部の人員も一定の確保がで

き、全国より観光でお越しの来館者はじめ、市内外の幼稚園児・保育園児・小学生の来館者への語りと高齢者サロン・老人会・各施設への出前語りなどいろいろな場で会員が活躍しております。十月十五日(日)の

「民話まつり」では、会員全員が語りを発表させて頂きました。当日の順番で会員をご紹介します。(敬称略)

- 一 「泥棒の手」 佐々木恵子
- 二 「白竜湖の琴の音」 高野 民子
- 三 「三人の若衆」 大竹 和子
- 四 「若返りの水」 佐藤久美子
- 五 「勇気のある小僧っ子」 堀 敏子
- 六 「鶴の恩返し」 白岩けい子
- 七 「やぎみす地蔵」 齋藤 和子
- 八 「双松の物語」 高橋 弘美
- 九 「みのわのなげき」 伊藤 進司



代表して白岩会長より
あいさつがありました

- 十 「屁たれ嫁ご」 中條 先子
 - 十一 「善根の功德」 高橋 大吉
 - 十二 「真心の一文銭」 松橋 信子
 - 十三 「こうれん」 安部 晶子
- 会員一同、尚一層の研鑽を積み努力を重ねていく所存でございますので、今後ともご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

